

1 研究主題

主体的にコミュニケーション活動に取り組む児童・生徒の育成
～求められる英語指導のために～

2 はじめに

数年来、小・中学校の円滑な接続を目指し、授業での言語活動の内容、指導方法等について検討してきた。昨年度より、新学習指導要領実施に向けての移行期間に入り、特に小学校では来年度以降、英語の教科化、英語活動時間数、学習内容の大幅な変更などが行われる。これに伴い、学級担任が行う英語の指導法の模索や改善、並びに中学校での英語学習に向けた円滑な接続が求められた。

また、中学校においても、小学校で習う学習内容の変更により、中学校で学習する内容の変更や、小学校での既習内容を改めて把握する必要があるようになった。

早期英語学習が始まることにより、言語習得をする上で良い期待をもつことができるが、反対に、英語を嫌いになるきっかけとなってしまう懸念もある。そういった児童生徒を作らないよう、教員にも指導方法の工夫と検討が求められると感じ、このテーマを設定した。

3 研究の概要

毎回の活動では、全体会として、新学習指導要領で設定される評価の方法の検討や、小学校での英語学習の紹介等を行った。小学校英語が本格的に開始されることで、生み出されるメリットと、それと同時に考えられる懸念について話し合うことができた。子どもが英語を使えるように、また、使いたいと思えるように、教員ができることについて検討を重ねた。また、教科書会社の方を招き、来年度より小学校で使用される新教科書についての説明会を行った。新教科書の使い方の簡単な紹介と、デジタル版のデモンストレーション、新教科書で可能なことを説明していただいた。

(1) 中学校部会では、各学年の担当別に分かれて情報交換や、実践紹介、課題の検討を行った。それぞれの学校や教員が「主体的にコミュニケーション活動が取れる」授業の実践を報告しあった。実際に使用した指導案や、授業で使用



した教材などを持ち寄り、意見交換を行うと共に、改善案の検討をした。同じ単元を指導した際、生徒の反応が良かった指導方法等があれば、率先して共有をした。

また、新学習指導要領に則した評価についての検討を行った。新学習指導要領では、評価の観点から4観点から3観点到まとめられる。その際に、どのような課題設定をすることで正しく生徒を評価することができるかということを考え、評価項目に照らし合わせた課題設定や授業の仕方、テストなどについて意見交換を行い、新学習指導要領についての認識を共有した。各学校で「主体的なコミュニケーション活動」が期待できる授業をそれぞれが実践し、検討することで、新しい指導方法や課題を発見することができた。

(2) 小学校部会では、それぞれの学校で困っていることや、授業でのアイデアなどを持ち寄ったりし、情報交換や各校の問題解決に向けて意見交換を行った。また、各校で使用されているワークシートや、ふり返しカードの使い方を共有したりし、授業内容や評価の方法についても検討を重ねた。さらに、今年度は、市内の中学校のALTが小学校を回り、会話のテストを行った。「主体的なコミュニケーション活動」を行う良い機会でもあり、そして児童が英語を使った成功体験を得るために、どのような準備をするべきかという検討をした。

また、英語ボランティアの削減や、担任が1人で英語の授業を担当する時間数の増加に伴い、授業の中で行えるアクティビティの内容についても交流し、アイデアを出し合った。それと同時に、小牧市夏季教員研修で行った内容を共有し、教員同士で実践を行ったり、自分の担当学年に合わせた指導の方法を話し合ったりした。

4 今後の課題

今後も、小・中学校でさらに連携を深くし、主体的にコミュニケーション活動に取り組む児童・生徒の育成を行っていく必要がある。特に中学1年を担当する教員は、小学校での活動や単語や表現などの学習内容を把握した上で、授業を展開していく必要があると感じる。昨年度からは「We Can!」が使用され、来年度は正式な教科書として、再び新たな教科書に変更される。子どもたちは中学校へ入学後すぐに、小学校で学んだ内容を活かせることで、自信をもって授業に参加できるのではないと思われる。それと同時に、小学校の教員も中学校での英語学習に向けた授業を意識し、今後どのような力が必要なのかを考えて指導していくことで、子どもたちの英語学習に対しての抵抗を少なくすることができるのではないだろうか。

また、小学校の英語学習の中で、主体的にコミュニケーション活動に取り組む児童を作ることができれば、中学校に入学後も抵抗なく英語学習に取り組めるはずである。今後も、主体的にコミュニケーションを取ることができる児童・生徒の育成を目指し、これらの活動が単年で終わらないように、市内の教員間で力を合わせて協力していきたい。